

ユニットン®

スリーブ開口部補強筋ユニット「ユニットン」は、通常現場にて設置が行われる切断補強筋(添え筋)及び斜め補強筋の役割をもつ上下フック形状鉄筋「ユニットン筋」にて構成されている開口補強筋です。



特長

スリーブ開口部の切断鉄筋補強及び斜め補強筋設置という在来工法が抱える課題を解消することができます。設置方法は開口部に置くだけです。「誰でも・簡単に」スリーブ開口部補強を行うことが可能です。

☆こんなお悩みに・・・

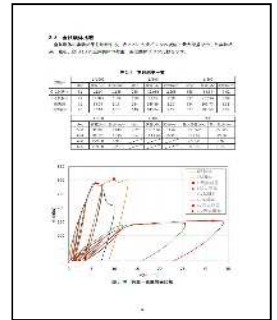
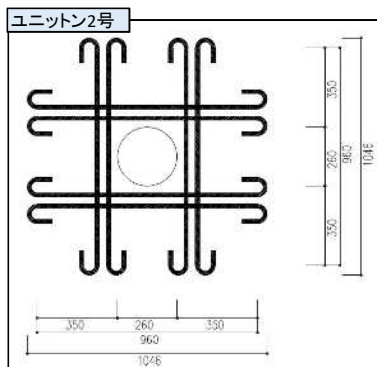
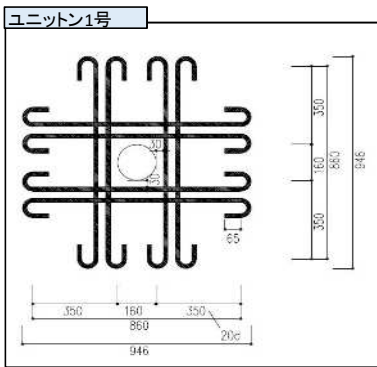
- スラブ配筋後の補強筋設置が大変。。。
- 補強筋の本数がスリーブ径や切断本数によって異なる場合があり確認や管理が大変。。。
- 補強忘れや本数間違えが多く修正に手間が掛かっている。。



「ユニットン」なら置くだけで補強完了！！
補強筋の設置手間を大幅削減できます。
補強忘れ・本数誤りも改善で品質UP、管理も楽々に！！

製品仕様

| タイプ名 | 対応可能径(外径) | 可能配筋ピッチ |
|---------|-----------|-----------------------|
| ユニットン1号 | ~160φ | 主・配力筋D13@100以上(SD295) |
| ユニットン2号 | ~260φ | 主・配力筋D13@100以上(SD295) |



東京理科大学 高橋(治)研究室と共同実験を行い、「鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説」-日本建築学会-に示された開口補強方法とした部材と同等の耐力が得られることを検証しております。

フジモリ産業株式会社

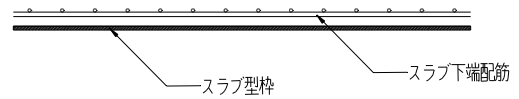
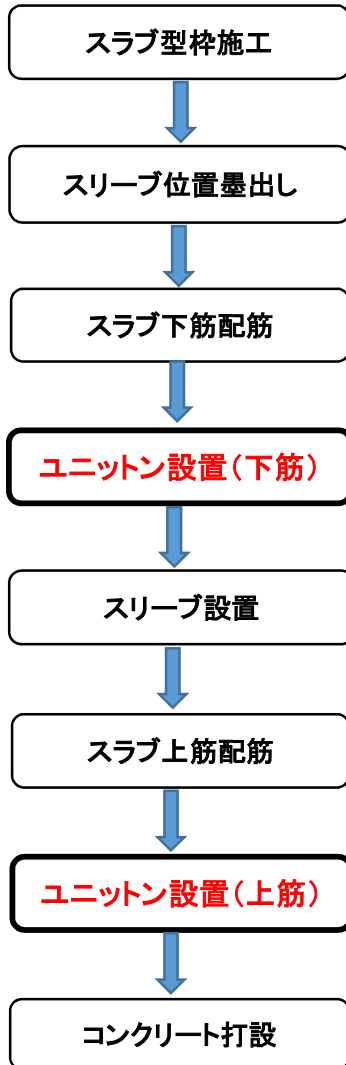
本社 〒141-0022 東京都品川区東五反田2-17-1
(オーバルコート大崎マークウエスト)

構造資材課 TEL.03(5789)2381 FAX.03(5423)5024

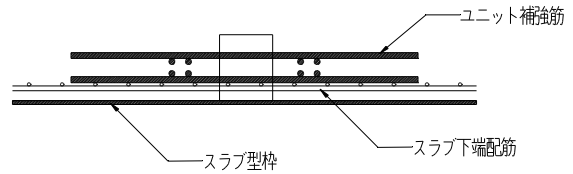
大阪 TEL.06(6228)3863 FAX.06(6228)3875
名古屋 TEL.052(571)8231 FAX.052(571)8234
九州 TEL.092(262)8521 FAX.092(262)6750
東北 TEL.022(263)1591 FAX.022(223)0067
札幌 TEL.011(222)4171 FAX.011(221)1370

お問い合わせ先

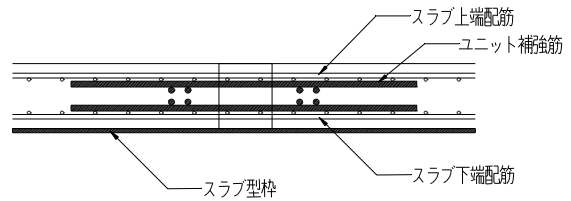
施工手順



スリーブ墨出し、スラブ下筋配筋後ユニットを設置
※下端鉄筋干渉部の切断は、ユニット設置前をお願いします



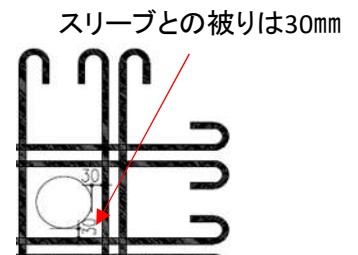
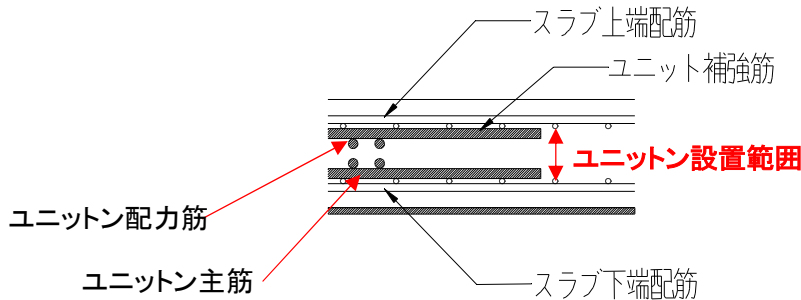
ユニット(下筋補強用)とスラブ下筋配筋と結束し固定
ユニット(上筋補強用)を下筋補強用に重ねて設置
スリーブをユニットと距離が30mm以上確保できるように設置する



スラブ上端筋配筋後にユニット(上筋補強用)を持ち上げて
スラブ上筋と結束固定する。
※該当箇所のスラブ上端筋切断は配筋時をお願いします

注意事項

- ① かぶり厚確保のため、必ずスラブ下筋と上筋の間に設置する。



- ② スリーブが使用可能口径以下で複数をユニットで補強する場合はスリーブと、ユニットの間隔が30mm確保できるように設置してください。
- ③ ユニットの設置は主筋がスラブ外側(上、下筋共)となるように設置してください。
- ④ 梁際でユニットを使用する際、梁の鉄筋と干渉し、設置が困難なため1辺もしくは2辺の鉄筋が曲げ加工されていない製品をご利用ください。
- ⑤ 製品の結束線に一部ゴムを使用しております。
製造後、長期保管された製品はゴムの劣化により結束が外れる恐れがあります。